



発行日：平成 26 年 6 月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

第 18 回海部会 WG を開催しました！

6 月 15 日に第 18 回海部会 WG を開催し、田原市の西の原海岸にて、ごみ・流木調査本調査を実施しました。

なお、今回 WG は、22 世紀奈佐の浜プロジェクト「西の浜エクスカージョン」と同時開催で実施しました。



日時：H26 年 6 月 15 日(日) 10:00 ~ 15:00
場所：田原市 西の浜海岸
参加者：30 名(事務局含む)

主な活動・会議内容

1：田原市の西の浜海岸にて、ごみ・流木調査を行いました



田原市の西の浜海岸にて、ごみ・流木調査を行いました。流木、人由来ごみの 2 種類の調査について、山・川・海メンバー合同で話し合いながら実施しました。



西の浜海岸



10m 四方範囲を調査します



流木の種類をチェック



人由来ごみを集めます



種別に分類

調査結果は裏面に記載しています。

2：西の浜エクスカージョンにも参加しました



本調査と合わせて、西の浜エクスカージョンを実施し、西の浜海岸清掃や伊勢・三河湾流域学習会を実施しました。学習会では、矢作川流域圏懇談会の活動報告として、山・川・海の活動報告を行いました。



始まりの会にて、亀の子隊より海岸清掃の説明



裕氏より矢作川「川会議」の活動報告



洲崎氏より森の健康診断の活動報告



青木座長より海部会の活動報告

お問合せ

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄

TEL 0532(48)8107 / FAX 0532(48)8100

* 矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijnet.or.jp) までお送りください。







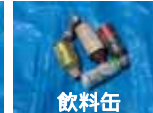



本調査結果

10m 四方内の流木の割合は、山発生のもの 1%、川発生のもの 10%、海発生のもの 25%であった。
10m 四方内の人由来ごみは、20L ごみ袋 3 袋分（ランク 4～5）で、内訳は以下ようになった。

< 流木の状況 >

A. 漂着物の状況 (時間経過)	1	樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの	無
	2	樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの	有
B. 人工林・自然林、 その他の別	1	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林	無
	2	まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木	無
	3	切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの	無
	4	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等	有
	5	その他()	

< 人由来のごみの状況 >

写真	       
種類	【生活系ごみ】 飲料用プラボトル、食品の包装・容器・トレー、ふた、キャップ、袋類（農業用以外）、飲料缶、飲料ガラス瓶、ライター、その他生活系 【漁業系ごみ】 釣り具（針、糸）、釣り具（ルアー等）、その他漁業系（網等） 【事業系ごみ】 木材等 【その他】 硬質プラスチック片、発泡スチロール片、シート、袋の破片
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類としては、飲料用プラボトル、袋類が多い。 ・佐久島でのプレ調査時と比べ、ごみの量が少なかった。 ・海岸沿いには砂だけでなく、礫も多く見られた。

振り返りでの主な意見

今後のごみ・流木調査への提案について

- ・水際と堤防沿いでは、ごみの種類が異なるので、網羅的に調査をしてもいいのではないかと。今回の調査エリアには、農薬の袋や苗木ポットはなかったが、堤防沿いには多く見られた。
- ・今後、ごみの発生源調査を行ってもいいと思う。
- ・FM愛知などのマスメディアとの連携により、広報を行うことで、参加者が多く集まると思う。



海岸清掃に集まった人たち

伊勢三河湾流域学習会（西の浜）について

- ・西の浜では、亀の子隊の活動が継続されていることがいい。ただし、子どもに注射器を拾わせていいのかという問題もあると思う。
- ・ごみを拾っても、台風が来れば、もとに戻ってしまう。そのために、ごみをどうしたら減らせるのか、根本的な対策についても考えていかなければならないと思う。
- ・ごみ調査は、砂浜という場所があるから実施できることを改めて感じた。



伊勢三河湾流域学習会に集まった人たち

今後のスケジュール（予定）

次回 海部会第 19 回 WG を 7 月 22 日（火）に開催します

内容は、ごみ・流木調査の今後の進め方、子どもの干潟体験、干潟造成について話し合う予定です。

